

移動等円滑化取組計画書

2023年 6月 30日

住 所 沖縄県豊見城市字翁長 811 番地  
事業者名 株式会社 琉球バス交通  
代表者名 代表取締役 小川 吾吉

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第9条の4の規定に基づき、次のとおり提出します。

I 現状の課題及び中期的な対応方針

(1) 車両等の整備に関する事項

・当社が保有する乗合バス車両においては、2022年度末時点の車いす対応車両の導入率は72%となっている。2023年度についても、車両の更新と併せて車いす対応車両の導入を推進し、毎年一定数置き換え可能な乗合バスを車いす対応車両に置き換える。

(2) 旅客支援、情報提供、教育訓練等に関する事項

・2023年度も継続して車いす利用者に対応したマニュアルの作成・研修を行い、各乗務員の対応の平準化を図る。

II 移動等円滑化に関する措置

① 旅客施設及び車両等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる旅客施設及び車両等	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
ノンステップバス ワンステップバス	・ノンステップバスを10台導入する（2023年度）

- ② 旅客施設及び車両等を使用した役務の提供の方法に関し法第八条第二項及び第三項の主務省令で定める基準を遵守するために必要な措置

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
車両等への乗降又は車内での移動について支援	・乗降の際のスロープ設置、車いすのベルト固定等の支援を行う

- ③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
バスロケーションシステムによる情報の提供	・バスロケーションシステムにて車いす対応車両の運行状況を表示し、移動のために必要な情報を提供する。

- ④ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
バス停時刻表への掲載	・バス停に掲載している時刻表の系統別に車いす対応車両の導入状況を継続して掲載。(表示例：一部対応 全車対応)

- ⑤ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
乗務員の技術向上	・車いす利用者に対する対応を学ぶ定期的な研修を行う。

⑥ 高齢者、障害者等が高齢者障害者等用施設等を円滑に利用するために必要となる適正な配慮についての旅客施設及び車両等の利用者に対する広報活動及び啓発活動

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
セミナーの実施及び参加	関係機関と連携しての講習会や開催されている講習会への参加し利用者との交流を継続して図る

Ⅲ 移動等円滑化の促進のためⅡと併せて講ずべき措置

ウェブサイトや電話、バス利用者との意見交換会(モニター会議)などで寄せられる利用者からのご意見を社内共有するとともに、取組の改善に活用する。

#### IV 前年度計画書からの変更内容

対象となる旅客施設 及び車両等又は対策	変 更 内 容	理 由

#### V 計画書の公表方法

当社ホームページにて公表
--------------

#### VI その他計画に関連する事項

--

注1 IVには、IIについて前年度と比較して記入すること。なお、該当する対策が複数になる場合には、新たに欄を設けて記入すること。

2 Vには、本計画書の公表方法（インターネットの利用等）について記入すること。

3 VIには、IIの欄に記入した計画に関連する計画（事業者全体に関連するプロジェクト、経営計画等）がある場合には、必要に応じ、その計画内容及び計画における当該事業者の位置付け等について記入すること。